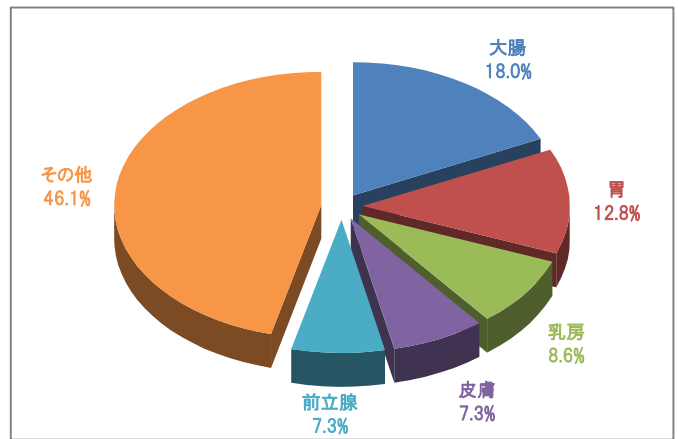


2016年 院内がん登録

部位(登録数) 上位5部位

	男	女	合計	構成比
大腸	67	32	99	18.0%
胃	44	26	70	12.8%
乳房	0	47	47	8.6%
皮膚	18	22	40	7.3%
前立腺	40	0	40	7.3%

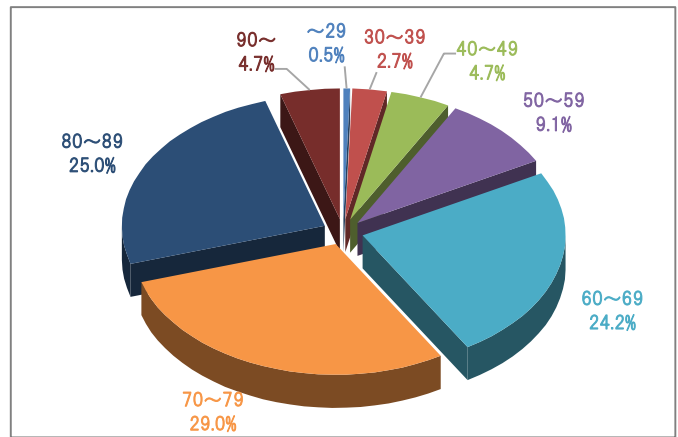
◆全体の登録件数が減少(-124件、▲18.4%)しており、上位疾患もほぼ減少。構成比は大腸(+1.5%)、胃(-3.7%)、乳房(±0)、皮膚(+2.4%)、前立腺(-0.6%)。
 上位の部位は大きな変化はなし、大腸、胃、乳房、前立腺は前年同様、皮膚が前年より増加し上位になった。



年齢階層別

	男	女	合計	構成比
～29	2	1	3	0.5%
30～39	3	12	15	2.7%
40～49	6	20	26	4.7%
50～59	25	25	50	9.1%
60～69	82	51	133	24.2%
70～79	96	63	159	29.0%
80～89	80	57	137	25.0%
90～	5	21	26	4.7%

◆年齢階層では、前年と大きな変化はみられなかったが、80代の割合が少し増えている。上位部位でも皮膚が増加しており、皮膚癌が高齢者に多い事が要因と考えられる。

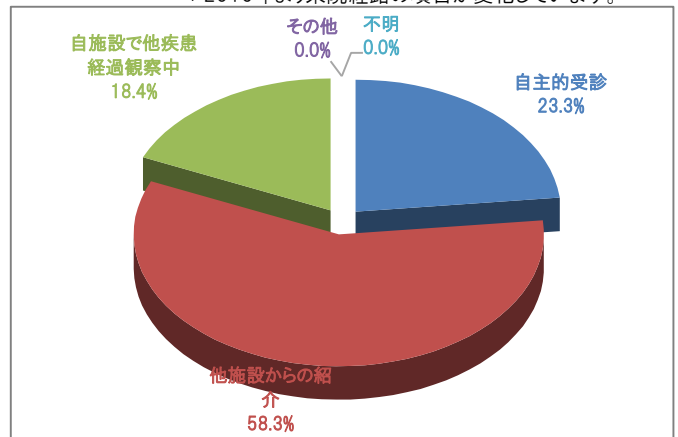


来院経路

	合計	構成比
自主的受診	128	23.3%
他施設からの紹介	320	58.3%
自施設での他疾患経過観察中	101	18.4%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%

◆他施設からの紹介割合が多くなっている。前年までは約半数強くらいであったが、6割弱まで増えている。自主的受診(自覚症状あり)での割合も若干ではあるが増えている。他疾患経過観察中は減少。

*2016年より来院経路の項目が変化しています。



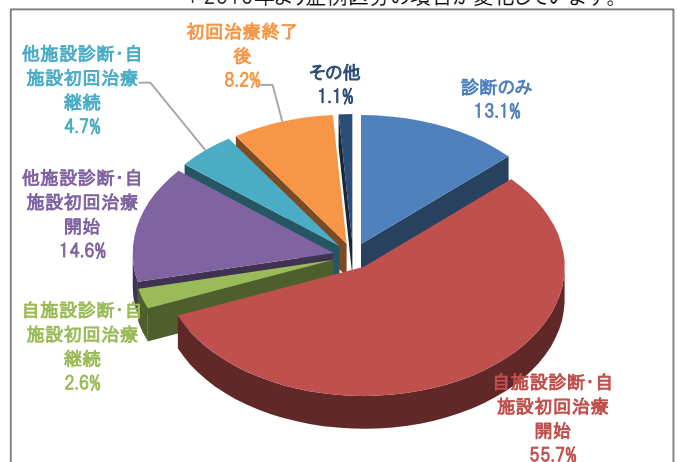
症例区分

	合計	構成比
診断のみ	72	13.1%
自施設診断自施設初回治療開始	306	55.7%
自施設診断自施設初回治療継続	14	2.6%
他施設診断自施設初回治療開始	80	14.6%
他施設診断自施設初回治療継続	26	4.7%
初回治療後	45	8.2%
その他	6	1.1%

※前年と項目が変化しており、比較出来ないが同様に考える事ができる項目もあり

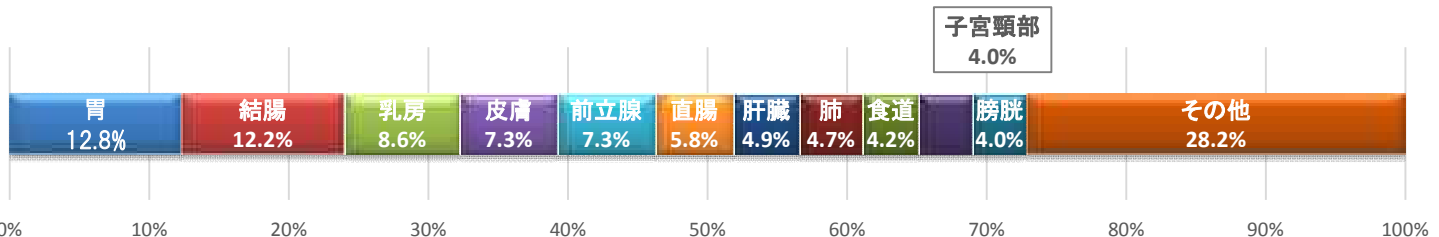
◆診断のみは減少、その他の項目は比較出来ず。

*2016年より症例区分の項目が変化しています。



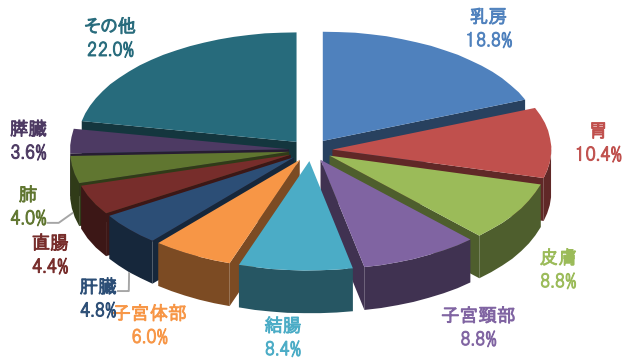
＜高知県立幡多けんみん病院 2016年 院内がん登録(詳細)＞

		性	～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～89	90～	総計	件数	比率
口腔・咽頭	女					1	4	2			0	7	1.3%
	男										7		
食道	女			1	3	1					5	23	4.2%
	男				3	5	8	2		18			
胃	女			1	1	5	8	11			26	70	12.8%
	男			3	3	12	18	8		44			
結腸	女			1	1	2	7	7		3	21	67	12.2%
	男			1	4	12	19	9	1	46			
直腸	女		2		1		6	1		1	11	32	5.8%
	男				1	9	6	5		21			
肝臓	女				1	4	3	4			12	27	4.9%
	男				3	5	3	4		15			
胆嚢・胆管	女					1	2	1		1	5	16	2.9%
	男		1			1	3	5		11			
膵臓	女					3	1	3		2	9	20	3.6%
	男				1	1	6	3		11			
喉頭	女					1					1	5	0.9%
	男						2	2		4			
肺	女			1		3	4	1		1	10	26	4.7%
	男			1		3	4	7		16			
骨・軟部	女										0	1	0.2%
	男					1				1			
皮膚	女				1	2	6	8		5	22	40	7.3%
	男		1	1		2	5	9		18			
乳房	女		2	7	7	14	10	5		2	47	47	8.6%
	男									0			
子宮頸部	女	1	7	6	2	1	4			1	22	22	4.0%
	男									0			
子宮体部	女			2	3	5	2	2		1	15	15	2.7%
	男									0			
卵巣	女		1	1	1	2	2	1			8	8	1.5%
	男									0			
前立腺	女										0	40	7.3%
	男				1	14	10	13		2			
膀胱	女					1	2	3		2	8	22	4.0%
	男					4	5	5		14			
腎・他の尿路	女				1	2	1				4	15	2.7%
	男				3	3	2	3		11			
脳・中枢神経系	女					4	2	1		1	8	16	2.9%
	男	1			2	3	1	1		8			
甲状腺	女				2			1			3	3	0.5%
	男									0			
悪性リンパ腫	女						2	3			5	10	1.8%
	男					1	2	2		5			
多発性骨髄腫	女								1		1	1	0.2%
	男									0			
白血病	女										0	2	0.4%
	男					1		1		2			
他の造血器	女										0	1	0.2%
	男				1					1			
その他	女				1			1	4	1	7	13	2.4%
	男	1	1		2	1		1	1	6			
総計	女	1	12	20	25	51	63	57		21	250	549	100.0%
	男	2	3	6	25	82	96	80		5	299		



◆登録数は前年より大きく減少した(-18.4%)。胃(登録数-36.9%、構成比-3.7%「以下同じ」、結腸(-14.1%、+0.6%)、乳房(-19.0%、±0)、皮膚(+21.2、+2.4)、前立腺(-24.5%、-0.6%)、直腸(-3.0%、-0.9%)、肝臓(-12.9%、+0.3%)、肺(-35.0、-1.2%)、食道(-8.0%、+0.5%)、子宮頸部(-24.1%、-0.3%)、膀胱(+37.5%、+1.6%)。ほとんどの部位で登録数が減少しており今年の減少に繋がった、なかでも胃、肺、前立腺の減少が大きかった。要因として考えられるのは、胃は全国的に減少しており、肺は自院の専門医不在、前立腺はロボット手術の発展により県中央圏の医療機関への受診が考えられる。

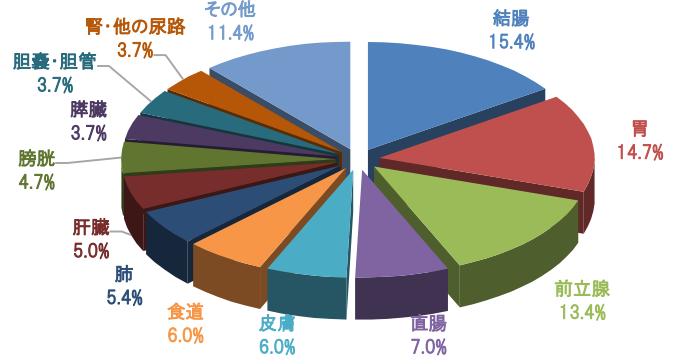
上位10部位(女)



◆乳房が前年と同じく女性で一番多い部位となった。順位では皮膚と結腸の順番が変わったが、皮膚が増加したのではなく、結腸の減少によるもの。6位以下の部位は前年と大きく変化している。

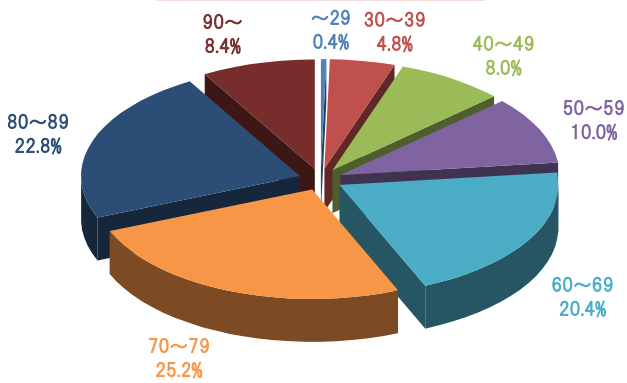
◆上位5部位は前年と同じ、5部位の構成比が前年より微増しているが、上位10部位の割合は若干減少した。

上位10部位(男)



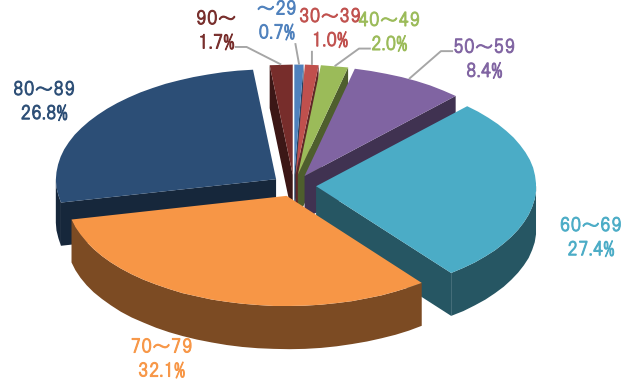
◆これまで男性の1位は胃だったが、今年は結腸が一番多かった。結腸・胃共に減少したが、胃の減少率が-41.3%と大きかったことが要因。皮膚・膀胱が増加し上位になった。

年齢階層別(女)



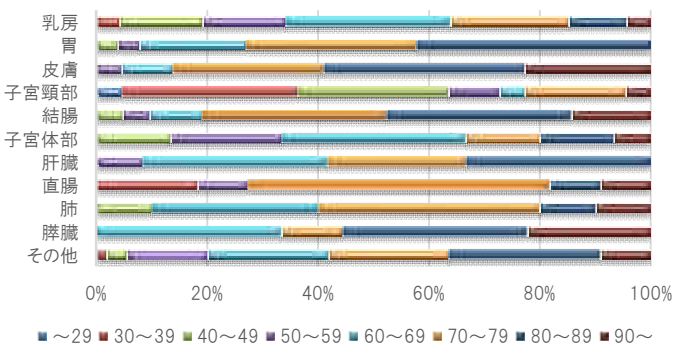
◆60代以上の割合が4分の3以上を占め、これは前年より微増。なかでも70代が最も多かった。80代以上が増えており高齢者の割合が高くなっている。

年齢階層別(男)



◆60代以上の割合が9割弱を占めている。なかでも前年より80代以上の割合が増加した。また50代の割合も増えてきている。

上位10部位/年齢階層別(女)

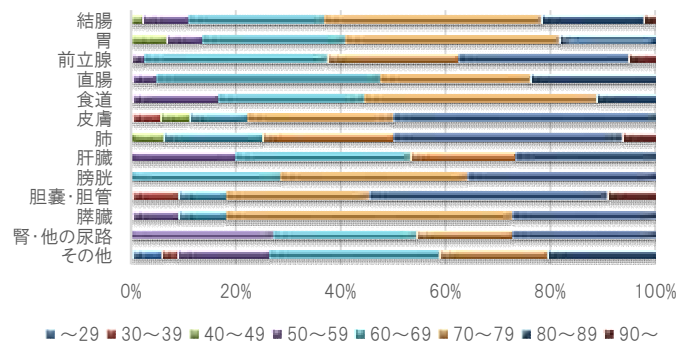


◆乳房…40代以降増加、60代が一番多い

◆胃…60代以上増え、80代が最も多い、次いで70代・60代

◆皮膚…80代以降が6割弱と高齢者に多い

上位10部位/年齢階層別(男)



◆結腸…50代以降増加、70代が一番多い

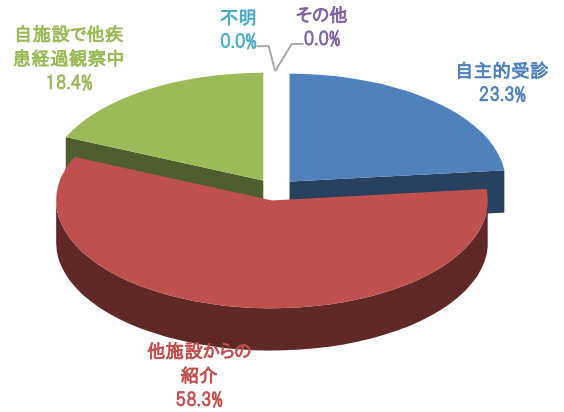
◆胃…40代以降増加、70代が一番多い

◆前立腺…60代以降増加、次いで80代・70代

《来院経路》

* 当該腫瘍の診断・治療のため
がん患者がどのような経路によって自施設を受診したのかを把握する項目

	自主的受診	他施設からの紹介	自施設で他疾患経過観察中	その他	不明	総計
口腔・咽頭	2	3	2			7
食道	3	18	2			23
胃	10	46	14			70
結腸	10	35	22			67
直腸	8	20	4			32
肝臓	6	12	9			27
胆嚢・胆管	4	8	4			16
膵臓	3	16	1			20
喉頭	2	3				5
肺	5	19	2			26
骨・軟部		1				1
皮膚	10	29	1			40
乳房	16	25	6			47
子宮頸部	8	9	5			22
子宮体部	3	11	1			15
卵巣	3	5				8
前立腺	8	14	18			40
膀胱	7	11	4			22
腎・他の尿路	6	9				15
脳・中枢神経系	7	6	3			16
甲状腺	1	2				3
悪性リンパ腫	1	8	1			10
多発性骨髄腫			1			1
白血病		2				2
他の造血器			1			1
その他	5	8				13
合計	128	320	101	0	0	549



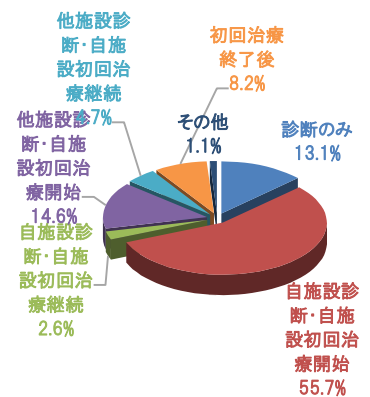
◆ 他施設からの紹介が最も多く、半数以上が紹介来院となっており、地域のがん診療連携拠点病院としての役割を果たしていると思われる。自主的受診(自覚症状あり)での来院が2割強、他疾患の経過観察中が2割弱となっている。

◆ 上位部位で見ると、自主的受診では、子宮頸部・乳房・膀胱の割合が高く、紹介来院では、食道・肺・皮膚の割合が高い、他疾患治療中は前立腺・肝臓・結腸の割合が高くなっている。

《症例区分》

* 当該腫瘍の診断および初回治療の過程に、
自施設でどのように関係したかを判断するための項目

	診断のみ	自施設診断 自施設 初回治療開始	自施設診断 自施設 初回治療継続	他施設診断 自施設 初回治療開始	他施設診断 自施設 初回治療継続	初回治療 終了後	その他	総計
口腔・咽頭	3	2	1	1				7
食道		10	1	9		3		23
胃	7	30	1	29	1	1	1	70
結腸	5	48	1	10		1	2	67
直腸	2	20		9			1	32
肝臓	1	23		1		2		27
胆嚢・胆管	8	6				2		16
膵臓	5	15						20
喉頭	1	4						5
肺	5	2	2	1	2	14		26
骨・軟部					1			1
皮膚	2	31		5	1	1		40
乳房	3	22	7		11		4	47
子宮頸部	4	11		6			1	22
子宮体部		11		2			1	15
卵巣		7			1			8
前立腺	9	24		1	4	1	1	40
膀胱	2	15		3		2		22
腎・他の尿路	3	3			2	7		15
脳・中枢神経系	1	12		1	1	1		16
甲状腺		2				1		3
悪性リンパ腫	7		1		1	1		10
多発性骨髄腫		1						1
白血病					1	1		2
他の造血器	1							1
その他	3	7		2		1		13
合計	72	306	14	80	26	45	6	549



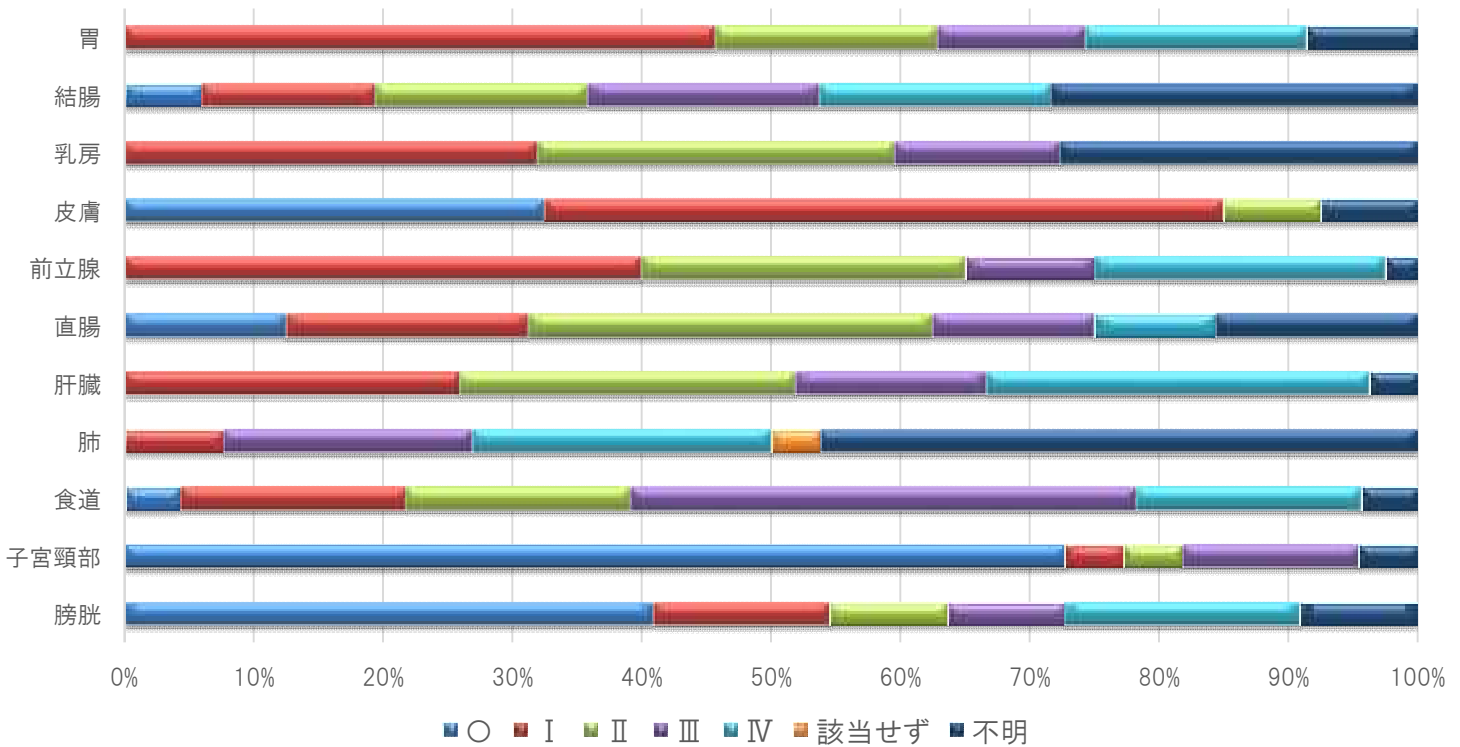
◆ 当院で初回治療が行われたものが77.6%と4分の3以上に対し初回開始あるは継続の治療を実施している。診断のみが13.1%と依然高い、診断のみのうち診断のみ(紹介あり)のものが53件(73.6%)、うち本人あるいは家族の希望にて他施設への紹介が34件、治療依頼・経過観察が19件。初回治療後も多く、なかでも肺が3分の1と多い。

《治療前ステージ》

*国際比較のため、UICC TNM 分類により
当該腫瘍の初回治療前の病期を記録するための項目

	○	I	II	III	IV	対象外	不明	総計
口腔・咽頭	1	1	1		4			7
食道	1	4	4	9	4		1	23
胃		32	12	8	12		6	70
結腸	4	9	11	12	12		19	67
直腸	4	6	10	4	3		5	32
肝臓		7	7	4	8		1	27
胆嚢・胆管		3		5	5		3	16
膵臓		2	1	3	13		1	20
喉頭		2	1		1		1	5
肺		2		5	6	1	12	26
骨・軟部					1			1
皮膚	13	21	3				3	40
乳房		15	13	6			13	47
子宮頸部	16	1	1	3			1	22
子宮体部		7	1	1	2		4	15
卵巣				4			4	8
前立腺		16	10	4	9		1	40
膀胱	9	3	2	2	4		2	22
腎・他の尿路		2			3		10	15
脳・中枢神経系						16		16
甲状腺				1	1		1	3
悪性リンパ腫		1	2	1	2		4	10
多発性骨髄腫						1		1
白血病			1				1	2
他の造血器							1	1
その他		6	2	1	2	1	1	13
合計	48	140	82	73	92	21	93	549

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◆治療前ステージ ○期…8.7%、I期…25.5%、II期…14.9%、III期…13.3%、IV期…16.8%、対象外・不明…20.8%

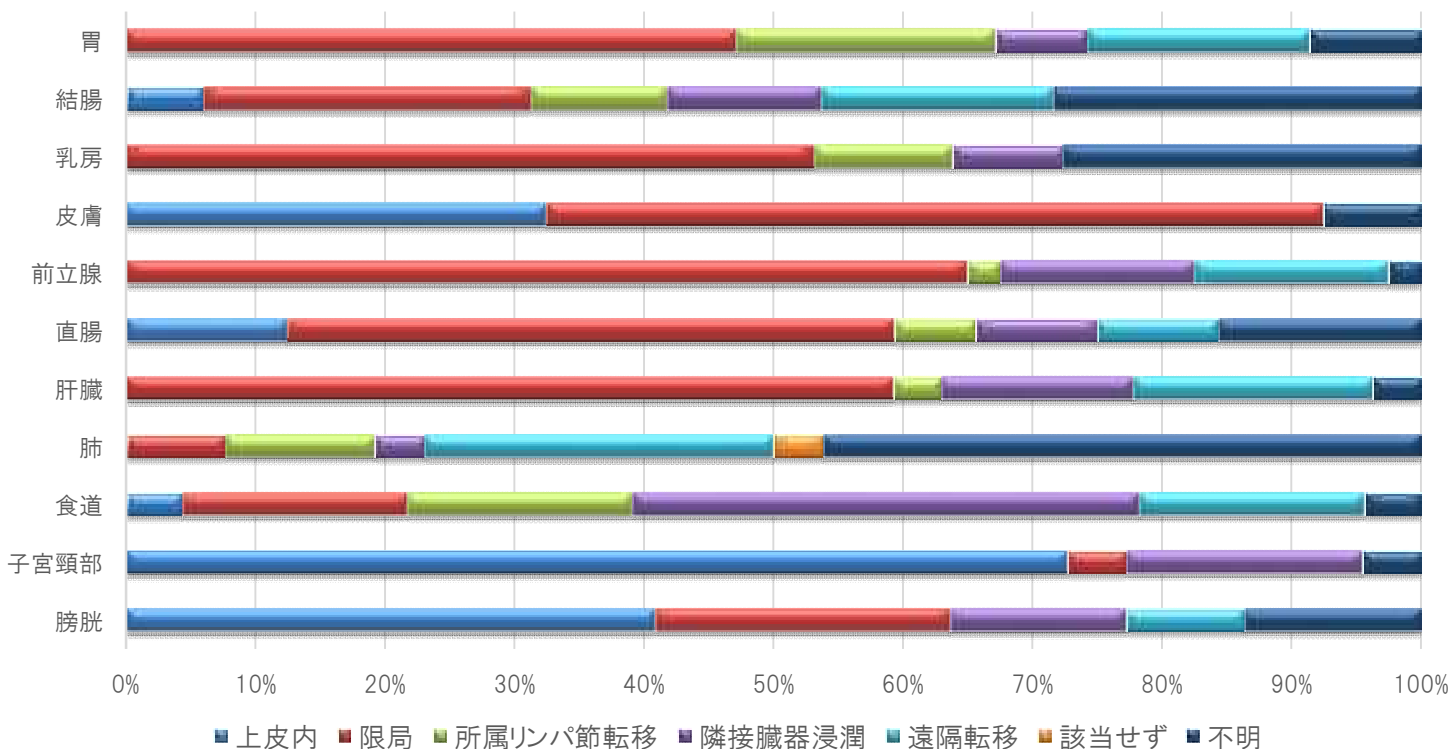
◆上位部位では、胃… I期(45.7%)、結腸…III期・IV期(17.9%)、乳房… I期(31.9%)、皮膚… I期で(52.5%)が部位毎では高い割合

※臨床診断のため、病期ステージの「不明」が多い

《治療前 進展度》 * 当該腫瘍の初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目
 * 他の病期分類などの変更の影響を最小限にして、経時的な比較を行うために定められている

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	隣接臓器浸潤	遠隔転移	対象外	不明	総計
口腔・咽頭	1	2		4				7
食道	1	4	4	9	4		1	23
胃		33	14	5	12		6	70
結腸	4	17	7	8	12		19	67
直腸	4	15	2	3	3		5	32
肝臓		16	1	4	5		1	27
胆嚢・胆管		2	4	3	4		3	16
膵臓		2		4	13		1	20
喉頭		3		1			1	5
肺		2	3	1	7	1	12	26
骨・軟部					1			1
皮膚	13	24					3	40
乳房		25	5	4			13	47
子宮頸部	16	1		4			1	22
子宮体部		7		3	1		4	15
卵巣				4			4	8
前立腺		26	1	6	6		1	40
膀胱	9	5		3	2		3	22
腎・他の尿路		2		1	2		10	15
脳・中枢神経系						16		16
甲状腺			2				1	3
悪性リンパ腫		1		1	2	3	3	10
多発性骨髄腫						1		1
白血病				1		1		2
他の造血器						1		1
その他		8	1	1	1	1	1	13
合計	48	195	44	70	75	24	93	549

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



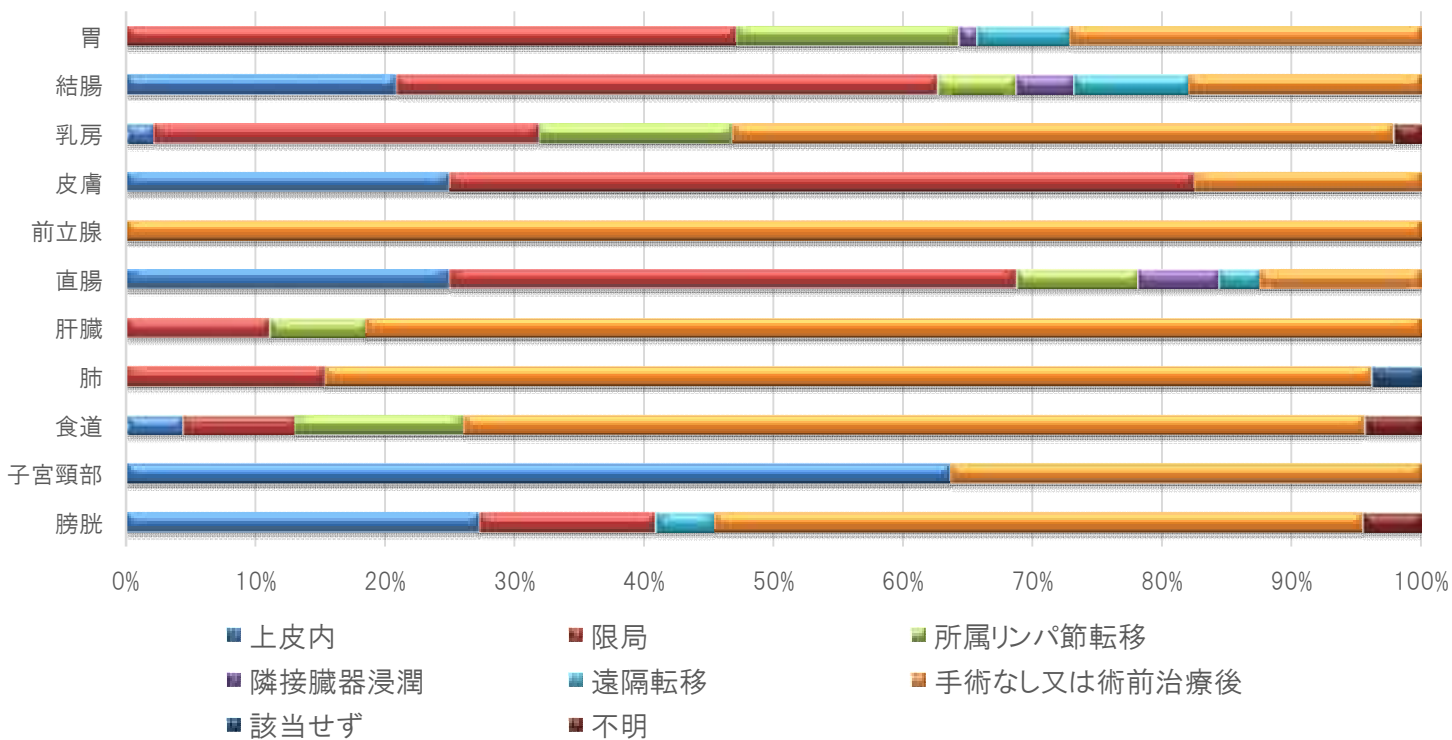
◆進展度(治療前) 上皮内…8.7%、限局…35.5%、所属リンパ節…8.0%、隣接臓器浸潤…12.8%、遠隔転移…13.7%、対象外…4.4%、不明…16.9%

※治療前ステージと同様、臨床診断のため「不明」が多くなっている。

《治療後 進展度》 * 当該腫瘍の手術標本などにより補完された初回治療前のがんの拡がりを記録するための項目
 * 経時的な比較を行うために定められている

	上皮内	限局	所属リンパ節転移	臨席臓器浸潤	遠隔転移	手術なしまたは術前治療後	対象外	不明	総計
口腔・咽頭		1		1		5			7
食道	1	2	3			16		1	23
胃		33	12	1	5	19			70
結腸	14	28	4	3	6	12			67
直腸	8	14	3	2	1	4			32
肝臓		3	2			22			27
胆嚢・胆管				2		14			16
膵臓				2		18			20
喉頭		2				3			5
肺		4				21	1		26
骨・軟部						1			1
皮膚	10	23				7			40
乳房	1	14	7			24		1	47
子宮頸部	14					8			22
子宮体部		8		2	1	4			15
卵巣		1		2	2	3			8
前立腺						40			40
膀胱	6	3			1	11		1	22
腎・他の尿路				2		12		1	15
脳・中枢神経系							16		16
甲状腺			1			2			3
悪性リンパ腫						7	3		10
多発性骨髄腫							1		1
白血病						1	1		2
他の造血器							1		1
その他		2				10	1		13
合計	54	138	32	17	16	264	24	4	549

◇◇◇ 上位10部位 ◇◇◇



◆進展度(治療後) 上皮内…9.8%、限局…25.1%、所属リンパ節転移…5.8%、隣接臓器浸潤…3.1%、遠隔転移…2.9%、手術なしまたは術前治療後…48.1%、対象外…4.4%、不明…0.7%

※手術なしまたは術前治療後には、手術なし・術前治療後以外に、経過観察の方や他施設へ紹介した方も含んでおり多くなっている

《初回治療情報》

*原発巣・転移巣のがん組織に対して行われた治療、すなわち、当該腫瘍の縮小・切除を意図したがん組織に対する治療。当該腫瘍に関する最初の診断に引き続き行われた、腫瘍に対する治療。

	初回治療											初回継続			初回治療なし				総計					
	外科のみ	外科+放射線	外科+放射線+化学	外科+薬物	外科+レーザー	鏡視下のみ	鏡視下+薬物	内視鏡のみ	内視鏡+薬物	放射線のみ	放射線+薬物	薬物のみ	レーザーのみ	TACE・TAE	経過観察	薬物のみ	放射線のみ	放射線+薬物		初回治療終了後	診断のみ	診断のみ(症状緩和)	他施設紹介(治療依頼)	他施設紹介(経過観察)
口腔・咽頭								1		2						1						3		7
食道				2		3	5	3			5	1				1				3				23
胃	8			9		6	5	22				8			1	2			1		4	4		70
結腸	13			8		18		16							1				1		3	3	1	67
直腸	5	1		1		9	3	10													3			32
肝臓	4				1							5	3	7	4				2			1		27
胆嚢・胆管	1					1					1	2							2		8	1		16
膵臓				1			1			1		12									3	1	1	20
喉頭	1						1			2												1		5
肺															3	4			14			5		26
骨・軟部																1								1
皮膚	31			1						2		2				1			1			2		40
乳房	1	1		9							1	10				7	6	5	4	1		2		47
子宮頸部	14									1	1				1				1			4		22
子宮体部	4			7								1			1				1			1		15
卵巣				5		1						1				1								8
前立腺												19			6	4			1			10		40
膀胱							8	3	3		2				2				2		1	1		22
腎・他の尿路						1					2					2			7			3		15
脳・中枢神経系	4		1												1	7	1		1			1		16
甲状腺	1														1				1					3
悪性リンパ腫																2			1			7		10
多発性骨髄腫												1												1
白血病																1			1					2
他の造血器																					1			1
その他	2									4		1			2				1			3		13
合計	89	2	1	43	1	38	15	61	3	15	8	70	3	8	28	29	6	5	45	1	22	53	3	##

◇◇◇ 上位10部位 当院初回治療あり ◇◇◇

